

— 天寿園 — ご利用案内

施設利用料金

時間区分	大広間(100畳)	茶室(20畳)	ホール(328㎡)
9:00~12:00 13:00~17:00 18:00~21:00	3,000円	3,000円	5,000円
9:00~17:00 13:00~21:00	6,000円	6,000円	10,000円
9:00~21:00	9,000円	9,000円	15,000円
1時間あたり (規定時間外)	750円	750円	1,250円

※茶室は3室(20畳、6畳、4.5畳)で1組の施設としての料金

※施設を営利・宣伝営業目的で使用する場合は、規定する額の5倍となります

貸出備品

机や椅子など、**備品はすべて無料**でお使いいただけます。
数に限りがございますので、種類や個数などはご確認ください。

予約方法

受付開始

電話又は窓口にて、ご利用日の6か月前の日から受付
(その日が休園日の場合、または該当日がない場合はそれ以降の直近の開園日)

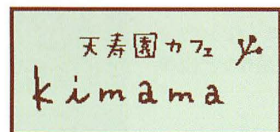
受付時間

- ホール(平日利用)…先着制/10:00~17:00
- ホール(土日祝利用)…申込抽選制/受付初日の10:00~13:00のみ
- ※抽選後の空き区分……先着制/受付初日 16:00~17:00
2日目以降 10:00~17:00
- 大広間・茶室……先着制/9:00~17:00

重複申込について

ひとつの利用時間区分につき、1申込に限ります。

カフェ

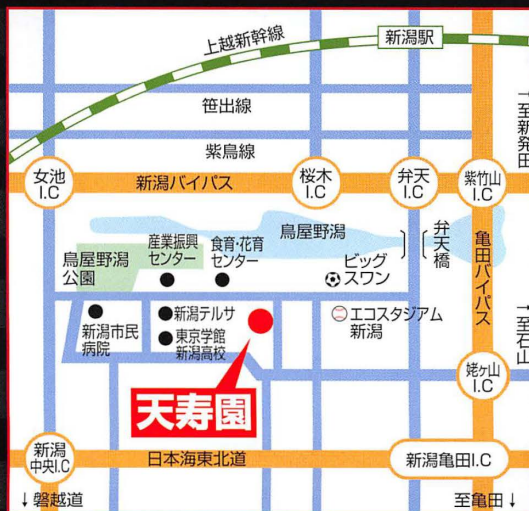


電話: 025-385-6570
営業時間: 10:00~15:00
定休日: 月曜日及び休園日

開園時間 午前9時~午後5時
(7月・8月は午前9時~午後9時)

休園日 ●毎月第2・4月曜日
(月曜が祝日の場合は翌日)
●12月29日~1月3日

入園無料 庭園はご自由にご覧いただけます
(ホール・大広間・茶室の利用は有料です)



- 〈交通〉 ●新潟中央I.C. 車5分
●女池I.C.(新潟バイパス) 車10分
●新潟亀田I.C. 車7分
●姥ヶ山I.C.(亀田バイパス) 車7分
●上越新幹線/新潟駅南口より 車15分
●バス/新潟市民病院行/
新潟市民病院経由首野木ニュータウン行
天寿園前下車、徒歩3分(新潟駅南口発)
- 〈駐車場〉 区画内70台・区画外30台(無料)

新潟市天寿園

〒950-0933 新潟市中央区清五郎633-8
TEL.025(286)1717 FAX.025(286)3312

指定管理者: 公益財団法人 新潟市開発公社
施設設置者: 新潟市



TEN JYU EN Niigata City

入園無料

中国庭園



悠久の歴史と伝統にはぐくまれた 華やかな宮廷庭園

北京市による設計、施工、資材も全て中国から運んだ本格中国庭園です。北京を中心とする近世の皇帝の庭園の華やかさを抽出してまとめ上げられており、中国の庭のほとんどあらゆる要素をどこかで体験できるように工夫されています。全体は雅語を配した八つの風景区に分かれており、これも中国のかつての宮廷庭園における慣習にならったものです。また、5月初旬には約200株のボタンの花が見ごろとなります。

- 湖山真意 (こざんしんい)
仙人が住むと言われる滝の裏からの景色も一興です。



- 櫻絡流觴 (ようらくりゅうしょう)
昔の中国で酒盃を流し、流れつくまでに一詩詠むという宮廷の遊びの時に使用したものです。

- 綉漪卧波 (しゅういごは)
北京頤和園の綉漪橋をモチーフとしていることからこの名がつけられました。

- 福寿康寧 (ふくじゅこうねい)
左右に“福”と“寿”を彫った石、中央には中国の大きな池からすくいだした奇石が飾られています。白い壁には魔よけ、火災から守るためにあり、中央の窓からは双環万寿亭が絵画のようにご覧いただけます。

- 勺舫横波 (しゃくほうおうだ)
中国で舟遊びが盛んだった頃、庭園内にもこうした舟形の建物を置くことが流行したそうです。
- 浮玉堂 (ふぎょどう)
門をくぐるとまさに中国を訪れた気分になります。回廊の山水画を一枚一枚ゆっくりとご鑑賞下さい。
- 双環万寿亭 (そうかんまんじゅてい)
中国の皇帝の一人、乾隆帝が母の長寿を祈って建てたものを模した建物です。天井のきらびやかな装飾も是非ご覧下さい。
- 玉泉観魚 (ぎょくせんかんぎょ)
中国の庭園でよく見られる石を積み上げた假山。その下には鯉が泳いでいます。

四季折々に風情ある日本庭園

広大な池と滝を中心とした日本の伝統的な築山林泉式庭園で、島根県の足立美術館と同じ中根金作氏により作庭されました。正面にかなりの水量の滝があり、その左手に茶室、茶寮があります。そこを進むと視界が開け、日本庭園全体が見渡せます。池に影を落とす蓮のような建物は「瞑想館」で、池上に美しいカーブを描いています。「瞑想館」は、建築家村野藤吾氏の作品であり、池に浮かんだ蓮の花をイメージに建設されました。静寂な空間は私たちが日頃多忙な生活の中に忘れていた心の安らぎを与えてくれるでしょう。春から初夏のつつじ類、秋のハギ、冬の雪吊りなど四季折々の風情を楽しむことができます。



日本庭園